

日本物理教育学会 ニュースレター



「日本物理教育学会賞」および 「日本物理教育学会奨励賞」の 推薦を募集しています

今年度より、日本物理教育学会では、学会の活性化を図る一環として、物理教育に顕著な貢献をした会員および優れた成果をあげつつある会員に対して、「日本物理教育学会賞」および「日本物理教育学会奨励賞」を授与することにいたしました。

今年度の応募締切りは、2013年12月20日（金）です。「日本物理教育学会賞」への応募は、他会員からの推薦（自薦は認めない）としています。また、「日本物理教育学会奨励賞」への応募は、自薦、他薦は問いません。応募に関する詳細は、会誌『物理教育』第61巻第3号（2013）の目次前のページ（水色）に記載されている募集要項をご覧ください。多くのご応募があることを期待しております。

※「日本物理教育学会賞の見直しについて」は、ニュースレター5月号にも案内を載せてあります。ご参照ください。

※ 過去の受賞者および受賞テーマにつきましては、学会ウェブサイトに掲載しています。

▶学会ウェブサイト <http://pesj.jp/about/award>

2014年第31回物理教育研究大会の開催について

来年2014年の第31回物理教育研究大会は東京で開催されます。日程や開催場所につきましては、現在のところ次のように予定しております。

- ▶開催予定日 : 2014年8月11日（月）・12日（火）
- ▶開催予定場所 : 電気通信大学（東京都調布市）
- ▶実行委員長 : 鈴木勝先生（電気通信大学）
- ▶備考 : 前日の8月10日（日）に同大学で評議員会を開催予定

学会費納入のお願い

ニュースレター4月号および会誌（第61巻 第1号（2013））でご案内しましたように、本学会の会費は前納（年度が始まる前の3月末までの納入）となっております。

2013年度分の納入がお済みでない方は、至急お振り込みください。また、過年度分が未納の方も、合わせてご納入ください。

物理教育に関連する イベントカレンダー

2013年11月2日(土)
13:00~16:45
日本物理学会2013年度公開講座
「物理学がヒッグズ粒子にたどり着くまで」
於 東京大学本郷キャンパス
（浅野地区）武田ホール
※会場が小柴ホールから変更になりました

2013年11月4日(月祝)
10:00~16:30
「第4回高校物理の授業に役立つ
基本実験講習会in福岡」
於 西南学院高等学校

2013年11月16日(土) 11:30~
日本物理教育学会東北支部 第28回研究発表会
特別講演「よくわかるマクスウェル方程式の話」
於 宮城県宮城野高等学校

2013年11月17日(日)
日本物理教育学会北海道支部
第3回中学・高校・大学をつなぐ
「物理教育シンポジウム」
於 北海道大学教育学部

2013年11月24日(日) 10:00~
16:30
第3回高校物理の授業に役立つ
基本実験講習会in新潟
於 新潟大学駅南キャンパス
「ときめいと」

日本物理学会2013年度公開講座 「物理学がヒッグス粒子にたどり着くまで」開催のご案内



日本物理学会2013年度公開講座

「物理学がヒッグス粒子にたどり着くまで」が、次の日程で開催されます。今話題のヒッグス粒子に関する最新の研究成果を知ることができる貴重な機会ですので、是非ご参加ください。

- ▶主催：一般社団法人日本物理学会
- ▶世話人：植松晴子（東京学芸大学）
安田淳一郎（岐阜大学）
- ▶後援：日本物理教育学会
東京都教育委員会
千葉県教育委員会
埼玉県教育委員会
神奈川県教育委員会

- ▶期 日：2013年11月2日（土）13：00～16：45
- ▶会 場：東京大学本郷キャンパス（浅野地区）武田先端知ビル5階
武田ホール（東京都文京区弥生2-11-16）
- ▶交 通：東京メトロ千代田線 根津駅1番出口徒歩5分
東京メトロ南北線 東大前駅1番出口徒歩10分
東京メトロ丸の内線 本郷三丁目駅徒歩25分
- ▶参加費：無料
- ▶対 象：高校生／大学生／小学校・中学校・高等学校の理科の教員／そのほか一般社会人
- ▶定 員：300名（申込先着順）☎申込受付は、9月6日（金）から始まっています。
- ▶申込方法：電子メール（またはFAX）で以下の内容を明記の上、下記申込先までお送りください。
受付後、整理番号を記したメール（またはFAX）を返信いたします。
お預かりした個人情報公開講座運営にのみ使用します。

【申込に記載する内容】①氏名 ②年齢 ③学校名・学年または職業

④Fax番号（Faxでの申込の場合） ⑤本公開講座を何で知ったか

【申込・問合せ先】日本物理学会事務局 公開講座係

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバンビル8F

電子メール：kouza-at-jps.or.jp（-at-を@に置き換えて下さい）

FAX：03-3816-6208 TEL：03-3816-6201

▶プログラム

- 13：00～13：10 開会挨拶 斯波 弘行（日本物理学会会長）
- 13：10～14：10 村山 斉（東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構）
「宇宙の真空をびっしり満たすヒッグス粒子」
- 14：10～14：25 休憩
- 14：25～15：25 浅井 祥仁（東京大学大学院理学系研究科）
「ヒッグス粒子の見つけ方～発見と性質をさぐる～」
- 15：25～15：40 休憩

2013年12月15日(日) 13：30～
16：30

日本物理教育学会新潟支部 クリ
スマス講演会
於 新潟会館

2013年12月21日(土) 13:00～

日本物理教育学会北海道支部 物
理教育研究会
於 北海道大学教育学部

2013年12月22日(日)

第1回高校物理の授業に役立つ
基本実験講習会 in 仙台
於 宮城県宮城野高等学校

2014年1月8日(水)

高校物理の授業に役立つ基本実
験講習会in北海道
於 札幌北高校

学会関連イベントは、以下のサ
イトでも紹介しています

<http://pesj.jp/event>

- 15:40~16:40 小林 富雄 (東京大学素粒子物理国際研究センター)
「ヒッグス粒子発見を可能にした最先端技術」
- 16:40~16:45 閉会挨拶 三沢 和彦 (物理教育委員会委員長)

▶ 講座概要

2012年から2013年にかけて、ヒッグス粒子の発見を示唆する実験結果が次々と発表されました。これは世紀の大発見として話題になりましたが、そもそも人類は何のためにヒッグス粒子を追い求め、そしてどのようにしてたどりついたのでしょうか。この講演会では、ヒッグス粒子が発見された意義の深層を、最前線で活躍している3名の研究者が語ります。

一人目の講演者である村山齊さんは「人類がこれまで物質の根源をどのように解明しようとしてきたのか」として「ヒッグス粒子が存在することがなぜ予言されたのか」という素粒子物理学の理論的な観点からお話します。

二人目の講演者である浅井祥仁さんは「予言されているヒッグス粒子を発見するためには、どのような実験を計画する必要があったのか」という素粒子物理学の理論と実験をつなぐ観点からお話します。

三人目の講演者である小林富雄さんは「ヒッグスを発見するためにはどのような技術が必要だったのか」という素粒子物理学の実験的研究の観点からお話します。

それぞれ講演では、ヒッグス粒子に関連した話題について「素粒子物理学が現在どのような未解決の問題に挑んでおり、今後どのようなことが解明されそうなのか」ということも、合わせてお話します。

新学期の参考書・教科書に！ご利用ください

E.F.Redish著・日本物理教育学会監訳「科学をどう教えるか—アメリカにおける新しい物理教育の実践—」(丸善出版)が、大変好評を得て発売されています。詳細は、下記サイトをご覧ください。

http://pesj.jp/doc/per_book2013.pdf

物理教育研究メーリングリスト(ML)が設定されています

この物理教育研究MLは、本会正会員(学生会員を含む)であればどなたでも参加できます。

参加を希望する会員は、subject欄に「per-ml参加申し込み」、本文として、日本物理教育学会会員番号と氏名を記載したe-mailを、MLへの投稿に使用するメールアドレスから以下のアドレス宛てに送付してください。

[per-ml-adm \(at\) pesj.jp](mailto:per-ml-adm@pesj.jp) ただし、(at)は@で置き換えて下さい。

また、このMLの詳細については次のウェブサイトを参照してください。

http://pesj.jp/research/ml_per

[事務局より] ニュースレターで広報したい行事などありましたら、10月15日までに [news\(at\)pesj.jp](mailto:news(at)pesj.jp) ((at)は@で置き換えてください) へご連絡ください。編集委員会で掲載の適否を審議し、記述を編集いたします。

発行：日本物理教育学会会長 高橋憲明

編集：日本物理教育学会ニュースレター編集委員会

発行日：2013年10月9日